

2018年2月27日

グループ3の検討の進捗について

グループ3の進捗状況について下記の通り報告いたします。

1. Group3 打合せ実績と内容

1月9日 課題調査票の修正・改訂をメールベースにて開始。2月13日に修正内容確認。

2月13日(火)

第1Grとの共同打合せ及び第3Gr内での工程表作成に係る方針の打合せ  
下記の方針に従って作成した。

- ・各課題調査票の担当者は、課題調査票の「具体的な項目」に係る項目が、ロードマップの素案で読み込めるか確認する。
- ・読み込めない場合は、ロードマップの素案の「文言」を修正するか課題調査票の項目を修正する。
- ・ロードマップに記載された素案は、「技術マップ」に記載されるよう確認・修正する。
- ・「技術マップ」に記載された項目は、課題調査票にひも付くことを確認する。

2月20日(火) 修正内容に付、メールにて確認。

2. 「ロードマップ」、「技術マップ」の作成及び課題調査票の修正

「ロードマップ」につき、Gr1からGr3までの全体工程の中でGr3の炉心・熱水力関係のキーワードを記載することで、全体工程の中での位置づけを示した。

「技術マップ」に於いて、課題調査票に記載されている具体的な項目を明記することで、課題調査票での項目をわかりやすくした。

「課題調査票」は、前回委員会でのコメントを反映し修正したと共に、新規の事項については追記を行い、Gr3での確認を取った。

(前回のコメント)

燃料デブリなどの不定形体系の解析手法に関する課題が追加されたが、シビアアクシデントを扱う課題調査票に記載した方が良いかもしれない。

(回答)

燃料デブリでの不定形体系に係る評価手法は、局所臨界での高次モード中性子束分布の取扱に係る評価であることから、基礎的な技術基盤に属すると思慮いたします。従いまして、解析技術に係る開発であり「炉心・熱水力設計評価技術の高度化」の課題調査票の記載で良いと思慮いたします。

以上